

## 平成23年度 第2回琉球大学動物実験委員会議事要旨

1. 日 時 平成23年7月19日(火) 9:00～10:30
2. 場 所 第二会議室(大学本部棟2階)
3. 出席者 高山委員長(医学部)、大瀧委員(理学部)、渡部委員(熟生研)、佐喜眞委員(法文学部)、比嘉委員(工学部)、上田委員(医学)、福治委員(財務部)

### 4. 議 題

審議に先立ち高山委員長から、平成23年度第1回動物実験委員会の議事要旨について説明があり、了承された。

#### — 審議事項 —

##### (1) 動物実験計画書の審査について

24件の実験計画書の申請があり、審査の結果、2件は承認「可」とし、他22件については疑義や指摘事項等があった。指摘された実験計画書については、指摘事項の修正等を委員会で確認後、承認することです承された。

##### (2) 動物実験計画(変更・追加)承認申請書について

26件の実験計画(変更・追加)申請があり、審査の結果、6件は承認「可」とし、他20件については指摘事項があった。指摘された申請書については、指摘事項の修正等を委員会で確認後、承認することです承された。

##### (3) 動物実験のための教育訓練の代替承認申請書

1件の代替承認申請があり、審査の結果、承認「可」とすることです承された。

##### (4) その他

①動物実験での動物死体の処理について、一部、医学部附属動物実験施設で焼却処理を行っているが、同施設内の焼却炉は、燃焼フロアの取替、炉本体の耐火材補修及び炉煙道の保温を要するなど、かなり老朽化しており、また、焼却炉設置室内の換気扇の故障など、室内環境面においても問題が指摘されている。このような状況において、今後も焼却炉を使用する場合、炉の補修等、室内環境の整備にかなりの費用を要する。

なお、現在、焼却後の廃塵(最終産物)は、外部処理委託しており、実験動物死体処理は、焼却処理を含め外部委託業務とし、焼却炉は廃棄する方向で検討したい旨、委員長から説明があった。

又、それに伴う「動物実験計画書」の様式については変更しないということが確認された。

②文部科学省研究振興局から「研究機関等における動物実験に係る体制整備の状況等に関する調査」への協力依頼があり、予め作成済みの回答内容について副委員長から説明があり、同委員会で再確認がなされた。